



一般社団法人 浦戸夢の愛ランド

ふるさと愛ランド ～牡蠣養殖から学ぶ～

復興支援助成

3年目

知識の提供・
普及啓発

海水浴場
「マイビーチ鬼ヶ浜」
入場者数 **8,000人**

自然体験、島暮らし、
ビーチクリーン作戦
参加者 **117人**

活動の全体目標に
対する達成度 **85%**

課題

浦戸桂島のカキは震災で壊滅的な被害を受け震災後牡蠣の収穫が減少。海環境が破壊されている。牡蠣養殖体験を通して海環境について学び知識の提供・普及啓発をする。

目標

1年目は体験用牡蠣筏を作り牡蠣が海水を浄化することとビーチクリーンに取り組み、2年目は牡蠣部会の一員として牡蠣養殖に携わる。3年目は牡蠣養殖の後継者育成に取り組み、後継者が育つこと。

活動内容

●1年間を通して牡蠣部会の一員として牡蠣養殖。特に11月に行われた牡蠣部会、家族総出の『牡蠣まつり』県内外から来たお客様を接待し、海環境についてもお話しできた。種牡蠣の挟み込みから収穫体験まで約500人の交流人口が増えたことで桂島にとって大きなプラス材料となった。●「マイビーチ鬼ヶ浜クリーン作戦」に7月約70人、3月34人が参加。海水浴場の海開き(7月19日)には7,000人以上の海水浴客が訪れた。



ビーチクリーン作戦

達成できなかったこと

- 「菜の花まつり」の復活は震災関係の復興事業により園地の確保が出来なかった。
- 「うみのもり水族館」での広報活動は水族館が出来たばかりで打ち合わせできず。

今後の展望

島の受け入れ態勢を整備して、将来的に牡蠣養殖を生業として桂島へ移住して島の後継者になるよう育てる。

成果と工夫した ポイント



成果

年間を通して牡蠣養殖に携わり11月に牡蠣部会。家族総出の『牡蠣まつり』県内外からお客様に海環境についてお話し活動の定着につながった。自然体験で約500人の交流人口が増えたことは大きなプラスとなった。

工夫

ネットを活用、ボランティアの参加に結び付け、牡蠣の養殖から自然体験、クリーン作戦を行うことができた。